



2009～2010年度RI会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ

No.1051 / 2009.7.3

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ選報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／四分一勝 会長

●本日の例会／2009年7月3日 第1075回 例会

「就任のご挨拶」

会長 四分一 勝
副会長 尾関 武男
幹事 西澤 民夫

「就任のご挨拶」

会長 四分一 勝



この度、東京赤坂ロータリークラブ会長を拝命し、困惑している次第です。と申しますのは、お話を頂きましたのは2年前で、癌の発症以前でしたので、長年お世話になっているクラブに少しは恩返しが出来たらとの思いでお受けいたしました。しかし、其の後暫くして食道癌が発見されましたので、御辞退を申し上げましたところ就任する頃には治るよと嬉しい一喝！そこで目標を持つこと、精神的免疫力を高める意味でも、精一杯務めたいと思いますので、皆様の温かいご指導とご支援を下さいますようお願い申し上げます。

ロータリアンになって23年が経ちましたが、昨今嬉しいことがあります。商売を継承している長男夫婦が、以前はどちらかというと私のロータリー活動を批判的に見ていた節がありました、それが此のところ理解を示すようになり、ロータリーの話を聞いて来るが増えました。経営者としての経験がそうさせたのではと思いますが、長いロータリー活動で最高の収穫かもしれません。

2009-2010年度のRI会長ジョン・ケニー氏の標語は「The future of Rotary is in your hands」とあり、これを「ロータリーの将来はあなたの手の中にある。」と訳しています。今年度2750地区ガバナーの久邇邦昭氏は、この標語をロータリーの将来はあなたの手の中にある、確保されている、もう大丈夫だというニュアンスがあるようにもとれますが、ガバナー研修会でのケニー会長のスピーチからは、あなたの手を使って、自分でロータリーの将来を築いてゆかねばならないという意味なのであって、容易ならぬ現実を見つめての標語であると受け取ったそうです。

この年度のクラブテーマを、「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」とさせていただきます。奉仕の理想のもとに集う会員の親睦を深め、弱者と共に手を携えていける社会を実現する一助でありたいと願っております。

ロータリークラブの四大奉仕、「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「国際奉仕」すべて大事なことです。ロータリーの綱領にある有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、育成するとありますが、四つのテストと併せて原点を見つめてみたいと考えます。

その中でもロータリーの看板である「独特の職業奉仕」は、他の奉仕団体や人道団体と違いを明確に分けています。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。

つぎにクラブが抱えている問題点のうち、会員増強、クラブ会計については、現実を踏まえて真摯にクラブ全体が我がこととして、取り組んでいきたいと考えています。また、会長の役目は調整役と承知しています。

皆様には各委員会活動を通じ関連にご議論いただき、我々クラブの特徴を活かした奉仕の実現をお願い致します。

以上、私がこのクラブで学び、考え実践しなければと思うところを申し述べましたが、凡人ゆえ中々近づくことすら叶いません。しかし、皆様にこの一年御享受いただき、少しでも近づけたらと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

「就任のご挨拶」

副会長 尾関 武男



副会長という重責を果たすには、私は体力に少々不安を感じます。

しかしながら、西澤正雄昨年度の指名委員長の折角のご推挙でありますので、私なりに懸命に務めて参りたいと思います。それには、会員皆様のご協力が是非とも必要です。どうか宜しくご指導、ご鞭撻の程、お願い致します。

四分一会長の提唱するテーマ「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」の実施とこれに沿う、クラブ管理運営委員会を統括するのが、副会長のまずもって大きな仕事と考えます。

すなわち毎週の「例会」が楽しく、和やかで活気に満ちた明るいクラブになる事が、私に課せられた役目かと心得ております。

幸いなことに今年度のクラブ会報、親睦活動、プログラム、SAA、ソングリーダーの各委員長にはすばらしい方を迎える事が出来ました。

過日それぞれの委員会の活動方針と計画を事前に伺い、学習させて頂きました。全く何の心配もございません。側面からサポートいたしたいと思っています。

また、副会長は、会長の補佐役に徹し、幹事との調整役を責務として全力を尽くす所存でございます。

どうか会員の皆様の絶大なる御支援をお願い申し上げます。

「就任のご挨拶」

幹事 西澤 民夫



この度、四分一会長、尾関副会長の下、東京赤坂ロータリークラブ幹事という大役を拝命し、大変身の引き締まる思いで一杯です。是非、皆様の温かいご支援を頂きこの一年を、真摯にかつ楽しく務めさせて頂きたいと心から思っています。

私のロータリー歴はまだ短い上、中小企業者とベンチャー企業への支援をするという国の仕事で、時節柄ますます忙しく、皆さまにご迷惑をおかけする場面も何度かあると思われることから、幹事の大役を務めさせて頂くということについては心苦しく思っているところです。

しかし、一方では、父が95歳まで福島県の本宮ロータリークラブで30年以上にわたり積極的に活動し、日頃から始終ロータリーの精神を私に話してくれたこと、また外国人留学生を受け入れるなど、その生活を心から楽しんでいただいていたことなどから、今回の大役について、わくわくしているといったところでも正直な感想です。

一口に言えば、皆さんと一緒に日本の将来を支える気概のある若手をどしどし会員として増やし、皆さんと日本のために尽くしていければ幸せだと考えています。

この年度は、この際、私が勉強不足であったと自覚しているロータリークラブの四大奉仕、「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「国際奉仕」を根本から見つめていきたいと考えています。以下、反省を込めてRCのホームページを一部引用参考にして、略述します。

◆「クラブ奉仕」には、ロータリアンが自分たちのクラブをうまく機能させるために必要な活動の全てが、含まれます。すなわち、例会への出席奨励、親睦活動、会員増強、プログラム、広報などに力を注ぎたいと思います。

◆「職業奉仕」では、各ロータリアンが自分の職業の尊さと、手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようになるべく不断の努力をするお手伝いをしたいと思っています。具体的には、各会員の職業を生

— ●先週報告／2009年6月26日 第1074回 例会 —
2008～2009年度 最終夜間例会・打上げ会

(18:30～21:10)

◎最終夜間例会「退任のご挨拶」

会 長 村山 公士
副会長 四分一 勝
幹 事 清水 實
ボーカル: デイパのり子
ピアノ: 平田フジト

◎打上げ会「ラテンジャズライブ」

出席報告: (順不同・敬称略)

会員53名/ 出席34名・欠席21名 (出席規定免除者6名)

ゲ ス ト/ シェリニ ソマイエ

(米山奨学生) 計1名



ご 家 族/ 橋本啓子、石井喜子、岩上曜子、尾上和美、小原英子、清水茂子、庄司佐代子、高須貴久代、土屋淑子、鶴間民子、吉岡登美子、松石裕子 計12名



6月26日

21件47,000円/本年度累計1,328,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

村山公士/どうか1年間無事終えることができました。皆様お世話になりました。吉岡琢磨/一年間本当にお世話になりました。今夜は思い切りジャズとお酒を楽しみます。清水實/皆様1年間ありがとうございました。分相応のニコニコを! 四分一勝/村山会長年度の理事、役員、委員長各位、一年間お疲れさまでした。尾関武男/村山、吉岡、清水3役、ご苦勞様でした。四分一年度も引き続き、よろしくご協力下さい。西澤民夫/打上げパーティ。村山会長、清水幹事、他役員の皆様ご苦勞様でした。来年はよろしくお願いいたします。橋本年男/村山会長、吉岡副会長、清水幹事、1年間お疲れさんでした。今後ともよろしくお願いいたします。今日は1年半ぶり恋女房を連れて来ました。尾上寛/村山会長、吉岡副会長、そして清水幹事1年間大変ご苦勞様でした。次年度はゆっくり休んで下さい。竹本孝三郎/皆様、密度の濃い一年をご提供いただき、ありがとうございました。次年度も楽しみにいたしております。柴本芳郎/カルテット、頑張っておきます。よろしく。入沢頼二/またカルテット聞いて下さい。村山年度お疲れ様でした。長谷川弘志/今年度、お世話様でした。次年度社会奉仕委員会がんばります。ヨロシク!! 岩上義明/村山会長・吉岡副会長・清水幹事、一年間ご苦勞様でした。今夜はおいしいお酒を飲んで下さい。庄司泰典/村山会長、吉岡副会長、清水幹事、1年間ご苦勞様でした。渡部一元/心温まる、さわやかな一年。ありがとうございました。岡澤実/この度、入会させていただきました。不慣れなこともあるかと思いますが、これからよろしくお願い致します。鶴間喜久男/皆様1年間、ありがとうございました。次年度も宜しくお願いします。武下朗/理事役員の皆様、ご苦勞様でした。でも気を抜かないよう、どうぞよろしく。西澤正雄/この度、私の勝手に退会させて頂くこととなりました。91年入会依頼、多くの思い出をつくる事が出来ましたこと、感謝の気持ちで一杯です。赤坂RCの益々のご発展と皆様・ご家族のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。本当に有難うございました。土屋東一/西澤正雄さん、たいへんお世話になりまして、ありがとうございました。石井謙次/昨夜、函館から帰りました。イカのおさしみ、おいしかったです。1年間ニコニコご協力ありがとうございました。

かし、青少年に対し職業指導 (Vocational Guidance) として就職相談などを行ったりしたいと思っています。特に日本では、職業倫理についての関心が高く、「職業奉仕こそがロータリーのロータリーたるゆえんである」と言われているようです。

◆「社会奉仕」は、ロータリアンが、自分の地域社会の、生活の質を向上させるために行うような活動に関係するものです。若年層や高齢者や障害者、その他の人々で、より良い生活への希望を求める源として、ロータリーに期待を寄せている人々への援助などを今後もできるだけ続けていきたいと思っています。このためには自分がしっかりとしないとならないと心しているところです。

◆「国際奉仕」が目指していることは、ロータリーの綱領第4項「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」にあるようで、無理のないところで具体的に進められればと考えています。

皆様ご承知の通り、そもそもロータリーは、GMが産声を上げる3年前の1905 (明治38) 年2月23日の晩、米国イリノイ州のシカゴで弁護士のパール P. ハリス、石炭商のシルベスター・シールなどの4人がデアボーン街にあるユニティビル711号室に集まったことが第一回の例会を嚆矢とするといわれています。4人は、お互いの事業あるいは職業上の結び付きを通じて、友好的交友関係を築くことができるはずであり、またそうするべきであり、仕事の上での関係が、友情の妨げとなることではないと、考えたようで、私はこの原点についても、もっと重視すべきではないかと考えています。

最後になりますが、皆様と目に見えないご縁で一緒にさせて頂いたことから、今後ともクラブ全員がお互いに助け合い、自分自身がしっかりした上で、社会のために尽くしていければ良いと考えています。この一年よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。以上

2008～2009年度打上げ会報告

6月26日(金)6時30分より ANA インターコンチネンタルホテル 東京「オーロラ」にて今年度最終夜間例会と打上げ会が開催されました。



村山会長の点鐘で始まり、村山会長より1年間の活動に対し全会員へ感謝の意を表され、吉岡副会長、清水寛治の退任のご挨拶へと続けました。米山奨学生シェリニ ソマイユさんからのご挨拶も加わり、華やかで格調高い夜間例会一部を終了いたしました。



2部の打上げ会は、真の慰労を合い言葉に親睦委員会の集大成とばかり、1部同様ロータリーらしい華やかで格調高いプログラムの幕開けとなりました。



ディナーの後は、赤坂ロータリーカルテットによる歌に続き、デイパのり子氏によるラテンジャズライブで、大いに盛り上がりが頂点へと達しました。

次年度に弾みをつける会場ムードの中、今年度・次年度三役エール交換がおこなわれ、ロータリーソング「手に手つないで」でお開きとなりました。

●次回予告／2009年7月10日 第1076回 例会

卓話予定: 「東京裁判の再考」

NPO法人 理想を考える会
理事長 羽山 昇 氏